

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 8

2012 No.695

3 はじめの言葉

4 電力会社の横暴と

既得権の主張の仕方

田原文夫

世の中、図々しい奴が存在するものだと分かってはいるが、あからさまな正体を現されると、やはり正直、腹が立つ。特に、既得権益者の図々しさは、いつしか当事者自身が、それに気付かない状態になっているから始末が悪い。先月は国会における既得権益者の現状に触れたが、半官半民の電力会社の既得権益感覚にもあきれものがある。そのドサクサに紛れて崩壊寸前の現政権は、与野党の野合で国民から税を吸い取るという既得権だけを行っている。またもや肝心な国会議員の定数は正問題には頼かむりするつもりらしい。何のことはない、電力会社と国会議員の癒着体質も改めて浮き彫りになった感じすらある。前回触れた通り、改革とは既得権者からの権益奪取である。それを己の手で実行することがいかに困難かを改めて見せつけられた思いである。民主党を主体とする政権交代＝既得権益の排除に期待した国民だったが、大いにガッカリ。しかも今回の消費税増税案をめぐる与野党野合劇で、旧来の自民党／公明党にも期待できないことも見せつけられた。やはり、既得権益者のナマズるさを解消するには、国民の手によるほか方法はないようだ。

10 情報社会を考える その23

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

グローバル、リージョナル、そしてローカル／パーソナルな異次元の最適化が、同時に求められる情報社会は着実に進展している。それは抜け駆けビジネスの既得権を明確にあぶり出してきてもいる。情報社会のアドバンテージとストレスが、同時に浮かび沈みしながら、確実に前進していることが実感できる。

13 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM構築が必要か その18

水田 浩

企業も国も、日本再生の新たなビジネスモデルを創出する多くの機会に直面している。東北大震災からの復興という機会は言うに及ばず、原子力発電所だけでなく、病院、学校、橋梁など、建造後 40 年、50 年以上の建造物が、日本国内のありとあらゆるところに存在している。これらの改修、解体、新建造など日本再生の成功モデルを創る機会とすることができると新産業ビジネスモデルの芽がいっぱいである。まずは日本国内にある、こうした市場で日本企業が再生するビジネスモデルを確立し、合わせて海外市場に向けた輸出産業

にまで高めることを目指したい。その基本テクノロジーである BIM の採用は、国を挙げて取り組むべき課題である。

2 0 連載 アーキテクチャ論 (16)

イノベーションアーキテクチャ

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本稿では、イノベーションアーキテクチャについて、SAUBER の博士論文 [1]に基づいて解説する。SAUBER によれば、イノベーションアーキテクチャは知識の構成に関するアーキテクチャである。以下では、まずイノベーションアーキテクチャの知識構成について述べる。

2 9 オペミスでは済まされないリスクの存在と

セキュリティポリシーの見直しと変更

aism

ユーザー組織を取り巻く環境には、実に様々なリスクが潜んでいることを改めて意識させたのがファーストサーバ社のデータ喪失事件だ。自社のシステムリソースの一部として活用してきている各種インターネット関連サービスとしてのアウトソーシングサービスだが、所詮、専門スタッフにシステム運営を依存するものである。アウトソーシングサービスには、経済性を含めて多くのメリットがある一方で、システム運用現場にいる専門スタッフの腕前次第で、非常に大きなリスクが存在（潜在）していることを痛感させられた。

3 3 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

第 11 回 リストラクチャリングと

ナレッジマネジメント（価値創造）の関係（2）

1970 年代のオイルショック後の 1980 年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズ No1=No1 としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991 年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

3 7 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 3 5 回 世界一の座を獲得した

日本の音楽ビジネスの転換は可能か

根本忠明

日本の音楽ビジネス市場が、初めて世界一になった。手放して喜べないのは、クラウド時代に対応出来ず、長期低落傾向が続いているからである。これに歯止めがかけられるかどうかを占う上で、非常に重要な二つの出来事が、今年起こっている。一つは、クラウド時代に対応する音楽配信への試みのスタート、もう一つは、世界一厳しい罰則規定を盛り込んだ改正著作権法の成立である。今回は、この二つの出来事の関係と、今後の日本の音

楽ビジネス市場の可能性について検討してみたい。

4 1 続インテリジェンスへのいざない 31

主観と客観からの情報活用(3)

今井 武

脱原発、反原発を求める抗議行動が、国会議事堂を取り巻く物理的行動へと発展している。民主主義の根幹は、民（たみ）が主（あるじ）である。これを党名にいただいた政党が、民の声を無視する意思決定を、立て続けに行っている。民との約束を破り、自分の発言に責任を持ってない政権与党が、民の意志に逆行して一人歩きしている。

4 4 情報処理技術者認定者 発表

4 6 一味違うウェブ検索

第二十五話 資料のチェック②

資料の記載日以降をフォローする ぐうのうえぶへい

ネット上から検索によって入手した情報／資料の記載内容のチェックポイント第二弾である。今回は、資料に記載されている内容と記載されていない内容のチェックについてから言及したが、今回は、資料の記載日および記載日以降の空白期間をフォローするポイントについて見てみよう。

4 9 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

☆☆

WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。近い将来に予定されているプロジェクトに先立って不安や問題点の確認をなさりたい方、現在進行中のシステムのプロジェクトマネジメントにおけるトラブル関連など、何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

cr-info@jmsi.co.jp

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究所 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体認証利用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛意識の心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2012年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp